

文化や科学、教育、自治体、産業資源等の情報を
デジタル化により保存し、継続的に提供し活用することで、
豊かで安全安心な日本の知識基盤社会をつくりあげる人材を皆様と共に養成しています。



Digital Archivist

デジタルアーキビスト 資格認定

Senior Digital Archivist / Digital Archivist

Associate Digital Archivist / Digital Archive Creator

準DA 資格とDA 資格は、**オンライン** + **オンデマンド** の講習会で取得できます。



講習会は主に社会人を対象にしていますが、
学部学生の方も受講できる準DA 講習会も開催しています。
講習会の開催日程は左記の二次元バーコードよりご確認ください。

デジタルアーキビストは 文化や産業資源等を保存、活用し 日本知識基盤社会を創出する

求められる3つの能力

デジタルアーキビストとは

「文化・産業資源等の対象を理解し、著作権・肖像権・プライバシー等の権利処理を行い、デジタル化の知識と技能を持ち、収集・管理・保護・活用・創造を担当できる人材」
本機構では、デジタルアーキビストをこのように位置づけ、求められる能力として次の3つを挙げています。



文化・対象の理解

目的に沿ったアーカイブの作成には、対象への深い理解が欠かせません。また、デジタル化し収集・保管や公開にあたっては、対象を取り巻く歴史や社会的な背景等を理解していることが重要です。



デジタル化の技術

情報の収集、記録、管理、利用さらに創作活動ができる多様な情報活用能力が求められます。あわせて文化や産業資源等を標準的な規格でデジタルデータ化し、検索が適切に行われるよう二次情報・メタデータを付与するなど、これらを自在に扱い活用する能力が要求されます。



法的理解と倫理

デジタルアーカイブの作成には、権利処理や倫理に関する理解が不可欠です。著作権、肖像権、プライバシー等の権利処理等の課題を解決するためデジタルアーカイブ整備推進法（仮称）の制定が進められています。制定・改正等に備え、最新情報の把握が必要です。

4つの資格

1 上級デジタルアーキビスト Senior Digital Archivist

デジタルアーカイブに関する高度な知識と実践力を持つプロデューサー
デジタルアーカイブの計画と指導能力のある者

関連する技術・法律等について主体的に学び続けコンテンツの活用方法を追求するとともに、デジタルアーキビストとしての能力をもって計画から利用までの指導ができる高度な専門性をもつ人材。

2 デジタルアーキビスト Digital Archivist

制作から運営までをとりまとめるディレクター
デジタルアーカイブ制作能力のある者

準デジタルアーキビストとしての能力を基礎として一連のデジタルアーカイブの制作・実施ができ、運営も含めて責任をもって対処できる専門性をもつ人材。

3 準デジタルアーキビスト Associate Digital Archivist

情報の記録・管理・利用が体系的に実践できるシニアクリエイター
基本的なデジタルアーカイブ制作能力のある者

文化・産業資源等に対し、情報の収集・登録・保存・管理・流通等の知識に加え権利処理等の能力をもち、情報提供等に責任をもって対処できる人材。

4 デジタルアーカイブクリエイター Digital Archive Creator

基礎知識をもって適切な撮影・記録ができるクリエイター
基礎的なデジタルアーカイブの作成能力のある者

文化・産業資源等に対し、情報の収集・登録・保存・管理・流通等の基本的な知識をもち、撮影・記録の作業を行える人材。

社会をつくりあげる人材です！



資格のメリット

就職に役立ちます！

情報社会において増大するデジタルデータを適切に扱うために必要な能力や技術を身に付けることができます。様々な職種の方に役立つ資格です！文化活動を支える専門職である「博物館」、「図書館」、「公文書館」、「歴史資料館」等の人材として期待されるだけでなく、「企業」等でデジタルアーカイブの開発を行なう部署やプロジェクトでの活躍が期待されています。

仕事に役立ちます！

情報の記録・保存・管理・利用についてだけでなく、著作権、肖像権、個人情報保護等に配慮した権利処理、体系的なICTリテラシーが身につくため、導入教育や新人教育などに活用されています。インターネット活用が手軽になったのと同時にそのリスク管理が重要視される現場で必要となるスキルが身につきます。

重要資料の活用により事業の幅が広がります！

著作権、肖像権、プライバシー保護等の前提に立ち、デジタルアーカイブとしての撮影・記録法、メタデータ（二次情報）等の扱いを理解することで、これまで眠っていた企業や組織の重要情報の活用や企業文化成熟につながります。また、企業・博物館・図書館などでデジタルアーカイブ開発事業の入札条件としてデジタルアーキビスト資格者の存在が求められることも多くなってきています。

資格取得者の声

多くの文化資源を次世代につなげる重要な役割だと思います。

板橋区公文書館 公文書館専門員 西 光三
(平成28年 上級デジタルアーキビスト取得)



資格取得から5年以上の時間が経ちますが、この間のデジタル機器の進化は目を見張るものがあります。さらに知的財産権やプライバシー権への配慮も重要性を増しています。こうした環境の変化に対応するために、継続的な資格取得の学習等を通じて自らの知識をアップデートしていくことは、多くの文化資源を次世代につなげるためにデジタルアーキビストが果たしうる、重要な役割だと思います。

伝統芸能の復活を支援するデジタルアーキビスト

株式会社アーキネット 代表取締役 伊勢 博
(平成21年 上級デジタルアーキビスト取得)



20年前に途絶えた山形市南山形地区の伝統芸能「谷柏田植踊」。東北文教大学の学生と地元住民による協働プロジェクトにより、当時の映像を元に復活が進められています。こうした地域文化の再生を支援していくのもデジタルアーキビストの大きな役割であり、復活した地域文化をさらに継承させていくための「デジタルアーカイブ」づくりが、地域を元気にする源になると確信しています。

認定養成機関について

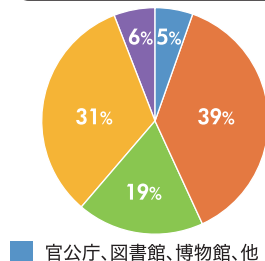
(2025年7月現在)

日本デジタルアーキビスト資格認定機構がデジタルアーキビストを養成する機関として認定した団体は次の通りです。認定試験を受験する際には、事前に認定養成機関が実施する講習会等を受講し、単位を取得していただきます。

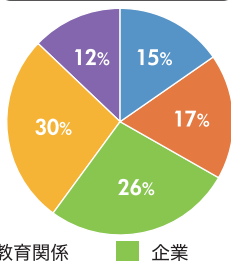
- 札幌学院大学 (<https://www.sgu.ac.jp/>)
- 東北文教大学 (<http://www.t-bunkyo.ac.jp/>)
- 常磐大学 (<https://www.tokiwa.ac.jp/>)
- NPO法人 ひと・まちなっとわーく (<https://www.hito-machi.net/>)
- TRC-ADEAC 株式会社 (<https://adeac.jp/>)
- 株式会社出版文化社 (<https://www.shuppanbunka.jp/>)
- 岐阜女子大学 (<https://www.gijodai.jp/>)
- NPO法人日本アーカイブ協会 (<https://www.npo-nak.com/>)
- 一般社団法人 地域教育文化アーカイブ振興協会
- 別府大学 (<https://www.beppu-u.ac.jp/>)
- 沖縄女子短期大学 (<https://www.owjc.ac.jp/>)

様々なフィールドの方が資格取得しています。

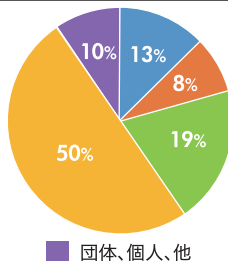
上級デジタルアーキビスト



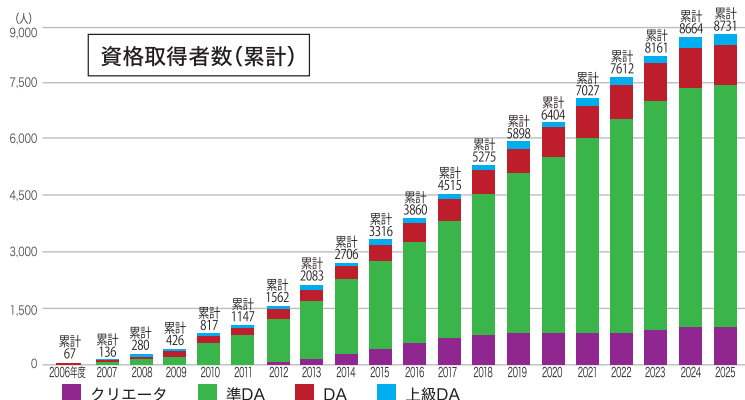
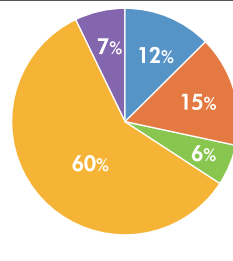
デジタルアーキビスト



準デジタルアーキビスト



デジタルアーカイブクリエータ



全国の認定資格者数

8,731人!

上級デジタルアーキビスト	226人	合計 8,731人
デジタルアーキビスト	1,090人	
準デジタルアーキビスト	6,500人	
デジタルアーカイブクリエータ	915人	

※一人で複数の資格を有している場合は、重複して計上しています。
(2025年7月1日現在)

1 大学等で取得する方法

当機構が認定した大学等で所定の単位を取得し、認定試験に合格(上級デジタルアーキビストは修士論文を執筆)することで資格を取得する方法です。

上級デジタルアーキビスト

認定養成機関(大学院)で所定の単位(20単位:必修科目12単位+選択科目8単位)を取得し、デジタルアーカイブ関係の修士論文を執筆

デジタルアーキビスト

認定養成機関(大学)で所定の単位(32単位:必修科目12単位+選択分野20単位)を取得し、認定試験を受ける

準デジタルアーキビスト

認定養成機関(大学、短期大学)で所定の単位を取得し、認定試験を受ける

2 講習会で取得する方法

当機構が認定した「認定養成機関」が開催する講習会を受講し、認定試験に合格することで資格を取得する方法です。

デジタルアーキビスト

5日間相当の講習を受け、認定試験を受ける

準デジタルアーキビスト

1日相当(学生対象は2日間相当)の講習を受け、認定試験を受ける

※デジタルアーカイブクリエータの講習会(1日相当(学生対象は2日間相当)、認定試験なし)を開催する場合もあります。

3 審査認定で取得する方法

デジタルアーカイブに関する『学識』及び『業績』に関する書類と、上級デジタルアーキビストとしての意欲、態度及び向上心を確認するための面接による審査に合格することで資格を取得する方法です。
出願受付期間はウェブサイトでお知らせします。

上級デジタルアーキビスト

書類審査と面接審査を受ける

認定試験料

資格取得の際にかかる認定試験料金は、右記の金額となります。
尚、講習等に関する費用については、受講される認定養成機関にご確認ください。

資格	認定試験料
上級デジタルアーキビスト	20,000円
デジタルアーキビスト	10,000円
準デジタルアーキビスト	6,000円
デジタルアーカイブクリエータ	5,000円



資格証イメージ

